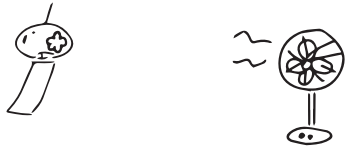


Youth  
Manna

2021/7/26 - 8/1



さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。マルコ 1:35

2021/7/26(月)

## 使徒 15:30-41

エルサレム会議の数日後、パウロはバルナバに、今までみことばを伝えてきた教会の様子を見に行かないか、と提案した。バルナバはマルコを連れて行きたいと願ったが、パウロはそれに反対し、彼らは別行動をとることになった。

私たちの周りでも、同じイエス様を信じていても、教会と教会の間や、もしくは教会を支える団体との間で、やり方や視点が違って衝突したり、感情的なしこりができてしまう場合も起こり得ることだね。もっと小さく考えれば、神の家族との関係でも起こりうる問題だ。このような場合でも、神様は「互いに愛し合いなさい(ヨハネ 13:34-35)」と言われているが、そのような状況下に陥った時にどうすることが、相手を愛することなのだろう？

2021/7/27(火)

## 使徒 16:1-10

リステラでテモテが仲間に加わったね。彼は今後教会の建て上げと宣教の重要な働きをする人たちの一人だよ！

聖霊は扉を開かれる方であり、閉ざされる方でもある。この箇所でも二度、パウロは進もうと思っていた道を閉ざされ、トロアスに下ることになった。パウロはここで、使徒の働きの著者となる医者ルカと出会って行動を共にすることになり(10節から「私たち」という表現が使われることから推論されている)、マケドニア人の幻を見て、ヨーロッパにおける宣教の召しを確信することになる。

聖霊が扉を閉ざされる時、もっと素晴らしい扉が開かれるためであることを常に覚えておこう！今はみんなはどんな渦中にあるかな？私たちを導かれる聖霊様に期待しよう！

2021/7/28(水)

## 使徒 16:11-24

(11-15) パウロとシラス、テモテとルカの4人は、マケドニアの主要都市にやって来た。最初に、祈り場に集まった女性たちに伝道した。その中でリディアという人が主イエスを受け入れ、彼女の家族も続いた。

(16-18) 占いや魔術の背後に悪霊がいる場合、その悪霊たちは当然、神である主イエスの権威を知っている。そのため主イエスや使徒たちに出会うと恐れたり慌てたりと、さまざまな反応を示す。若い女奴隷に取り憑いていた霊は、彼らが何者であるかを呼び続けた。それに困り果てたパウロは悪霊を追い出し、結果、捕らえられ鞭で打たれ、投獄された。

パウロたちは聖霊によって宣教を行っていた。彼らの宣教の背後には、アンティオキア教会の祈りがあった。私たちも、救われていない家族、友人のために祈り続けよう！

2021/7/29(木)

## 使徒 16:25-40

パウロとシラスは牢の中でも主を賛美していた。それは一緒にいた囚人たちにも平安を与えていたのだろう。そして看守たちも賛美に聞き入っていた。すると大地震が起これ、牢の扉は壊れ、囚人全員の鎖が外れるという事態が起きた。普通なら囚人たちが逃げるような出来事にも関わらず、神様の平安にあった囚人たちは誰一人逃げることもなかった。そしてその奇跡的な出来事を通して、看守たち、その家族が救われ、洗礼を受けたのである。

この世の常識に囚われていないだろうか？困難な時にこそ神様により頼もう！祈り従おう！

私たちの想像を遥かに超える神様のみわざに期待しよう！！

梅干しの日

2021/7/30(金)

## 使徒 17:1-15

▶第二次伝道旅行中の話。パウロはピリピ→テサロニケ→ベレア→アテネと移動しながら、福音を伝えていた。

▶今日は、ベレアという街での出来事について注目してみよう！ベレアの人たちは、パウロのメッセージを聞くだけではなく、聖書には何と書かれているかを確かめるため、毎日聖書を調べていた。

▶私たちは、日曜日のメッセージを聞くだけになっていないだろうか？メッセージを聞くだけでなく、聖書を開きたい！

▶11,12節をもう一度読もう！そして今日、聖書通読を1章でもしてみよう！

2021/7/31(土)

## 使徒 17:16-34

パウロはアテネの地で、たくさんの偶像礼拝を目の当たりにして心に憤りを覚えた、と書いてあるね。神様の救い、御国を求めているからこそ、そこにある罪の現実に心を痛めていたんだ。でも、そこでパウロは怒るだけで終わることはしなかった。アテネの人々の神様を求める心を見て、求めている方が誰なのかを語っていたね。しっかりとそこにいる人々と話しながら福音を述べ伝えていったんだ。その結果、福音をあざ笑う人、「また今度」と答える人もいたけど救われる人も確かに起こされた。

私たちがいる学校や地域の中でも、他の神様をたたえる文化があったり、イエス様を知らないのが普通な空気がある。だけど、その中でも神様が周りの人をどう見ているか、愛しているかを聞いていこう！神様がきみにしてほしいことは何か聞いてチャレンジしてみよう！

2021/8/1(日)

## 使徒 18:1-17

パウロはユダヤ人のアキラとプリスキラという夫婦にコリントで神様の導きによって出会い、その夫婦とともに天幕作りを行いながら宣教をしました。コリントでの宣教においてパウロは安息日に会堂に行き、イエス様がキリストであることを証しましたが、ここでも反抗を受けました。ですが異邦人のもとにパウロは行き、そこで会堂司のクリスポが家族全員が神様のことを信じ、多くのコリント人も信じてバプテスマを受けました。頑なに信じないユダヤ人たちの反対にあったパウロでしたが、彼の元に神様が直接幻のうちに現れて「わたしがあなたとともにいる」とことばをかけられました。

私たちも友達と過ごす中で神様のことを語った時、友達からはあまり良い反応が返ってこないかもしれません。ですが私たちにも神様はともにいます。恐れなくて語り続けましょう！